

認知症の人を支える介護と地域活動～カナダ編～



連載 第六七回

自分らしく暮らす 認知症と私

今年の桜は、思いもかけずカナダのバンクーバーで楽しむことになりました。3月17日から23日まで鳥取大医学部の浦上克也教授の企画・同行解説による「カナダ認知症支援視察研修」に参加したのです。

六日間で五カ所の見学というハードスケジュール。しかもコロナ禍以後五年ぶりの海外旅行ですから、準備の段階からいっになく緊張していました。そんな通訳を含む一七人を迎えてくれたのがバンクーバーの澄んだ空気と満開の桜でした。



認知症の人の村

①不安がないか電話で確認してくれる②9-20時は電話相談ができる③認知症についてウェブで学べる④家族介護者への支援グループがある⑤認知症の人や友人が参加できる運動教室がある⑥対面やウェブでコーヒーとおしゃべりを楽しめる会があるなど、多彩で有益な活動だと感じました。

◆理想郷は高嶺の花

昼前に空港に到着、その足で最初の見学施設の「VILLAGES」認知症の人の村へ向かいました。オランダで始まった認知症の人の村のコンセプトは、認知症の人が自分の意思で自由に歩き、買い物や人との交流ができる場所があり、安全・安心に普通の生活ができる空間、そして適切な認知症のケアや医療が受けられるというもの。理想的な介護付き住宅です。

辰川 和美さん
京都市出身。広島大学教育学部心理学科卒。大学では学習や記憶のメカニズム・感覚とその認識のシステムなどを学ぶ。その後、医療施設の経営やデイサービス・特別養護老人ホームなど介護事業を運営。認知症の人の生活しづらさや、家族の不安・困惑に対する支援を続け、ライフワークとして取り組んでいる。

ります。バックヤードには、家庭菜園や遊歩道、かわいい二頭のヤギ頭がのんびり草を食む広場もありました。

◆当事者が理事として活躍

翌日訪問したアルツハイマー協会では、認知症の人を支援するたぐさんの活動紹介がありました。中でも「ファーストリンク（最初のつながり）」という認知症と診断を受けたばかりの人を支える六つの取り組みは次の通りです。



ジムさんと筆者

2007年に認知症と診断されたジムさんは、常に認知症の人の代弁者としてこれらの研究や活動に参加され、協会の理事も務めておられます。時々、言葉を探しながらも笑顔で誇りをもって話される様子に、これまで関わらせていただいた認知症の人たちのお顔を思い浮かべ、勇氣と希望を感じるひとときでした。



ブリティッシュコロンビア大の桜の下で

びんナビ 公式 LINE

友だち募集中

毎週水曜日 配信中!

うれしい情報をLINEでお届け

- ★公園、休日当番医の情報
お出かけ先で近くの公園や道の駅の情報がすぐわかる!
- ★週末のお出かけ情報
「今週どこ行こう?」迷った時にちょっと見てみるといいかも
- ★プレゼント応募がすぐできる
手元にびんまるが無いときでもLINEから簡単応募

@binnavi

中古住宅・空家

責任を持って買取ります!

早く現金化 秘密厳守 買主につき仲介手数料 不要!

査定無料 ☎ 084-921-3232

ダイフクホーム

大福ホーム株式会社
福山市露町3丁目3番1号

借家として家賃運用したい
財産分与で早く現金化したい
住み替えの為、売却したい
住宅ローンを無くしたい
相続したが維持が困難
などなど...